

新システム機能要件（施設予約機能）

別紙 1

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
1	使用者（団体・個人）登録及び管理	①使用したい施設に応じて団体登録手続きが可能（最大4種類） ※右記種別毎に管理者により設定する各登録条件に応じて、以下各項目情報を使用者より取得する。 ②登録申請のフロー、必要入力事項、本人確認証の例等事前に手続き内容の確認が可能	①スポーツ関連施設、多世代交流施設、生涯学習学校関連施設、生涯学習施設（仕様書P8(2)No.1～4）の4種で団体等の管理業務が可能 ※管理者毎に管理できる権限等について、各種内で確認できる施設や各権限を指定できるほか、複数の種の管理権限を持つ管理者は、同一アカウント及び画面内で、複数の種を同時に管理・確認ができることを可能とする。 ②①の種類毎に、団体または個人の登録条件の設定及び適用日時の指定が可能（項目、最低●人必要、重複の可否、本人確認書類の提出の有無等） 団体については、団体そのものの種別（一般・7種の地域団体）の仕分けが可能で、代表者・連絡担当者・構成員等各属性に応じた登録者毎に登録条件の設定が可能 ※登録条件を変更した場合における条件に満たない場合のエラーは、指定する適用日時後の新規登録・更新のみに適用し、適用日時前の登録済団体・個人へは適用しない。 年齢要件の設定が可能（例：スポーツ施設は1歳から等）

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
		③市が指定する条件（人数等）に基づき、オンラインで団体または個人登録の申請が可能（管理者から差し戻しがあった際は、内容修正して出し直しが可能） 身分証の撮影リンクを通じて、写真のアップロードが可能。アップロードする際は身分証の種類をプルダウンから選択し、それに合わせた枠付きの撮影画面が自動で設定され、その枠に合わせるよう求めること。（下記イメージ参照） 団体の代表者・連絡担当者（同一団体内での重複設定は可能）として個人情報を入力する際、当該団体の登録種目に対し、同じ種目の別団体の代表者・連絡担当者として登録している場合（種目が重複する別団体での登録は不可）は、「既に同一種目で登録済みです。」とエラー表示を出すこと。なお、構成員としての登録はエラーでは出さないが、管理画面上で重複者のリスト化等が可能。 その他、どこに不備があるのかエラー項目が一覧化されるなど一目で知ることが可能。「在学・在勤」のチェック欄にチェックを入れることで、在勤証明書等もアップロードが可能。アップロード漏れがあればエラーを表示。 ④団体登録代表者が、他登録予定メンバーへID等を共有することで、各登録メンバー毎に入力・本人確認書類の提出が可能（代表者は、他メンバーの入力状況が把握可能） ⑤使用者による申請においては、登録時に必要な個人（代表者・連絡担当者・構成員・責任者）情報の入力のほか、本人確認書類の提出を必須条件とする。	③使用者の申請内容を確認後、各種管理業務の担当職員が、システム上で申請内容の決裁確認・登録許認可（ワークフロー）が可能（不可の場合は申請差し戻し）。 許可にあたっては、「学習サークル情報」への掲載可否についても選択できる形とし、可となった登録情報は、「学習サークル情報」（詳細は「学習サークル情報機能」のとおり）に掲載される。 ワークフローは、仕様書P7(2)「予約対象施設の室場数と予約件数」におけるNo1～4でそれぞれ可能とする。 登録完了時は、ログインID・パスワードを登録団体（個人）指定メールへ通知が可能。 また、不足資料等あれば代表者等と連絡できるメッセージ機能（後述）を実装 ※②で本人確認書類の提出を求めない場合は不要 身分証アップロード時に、不鮮明であれば自動で再登録を求めることが可能。 管理者複数人による同時確認作業が可能。 管理者による承認後、設定した期間が経過すればアップロードされた画像の自動消去が可能。 身分証画像は都度クリックする必要がなく、名前・住所等の基本情報の横に画像表示が可能。（クリックすれば拡大表示も可能） ④申請団体（個人）毎に、申請受理・確認・登録許認可（または差し戻し）等の履歴の確認が可能 ⑤指定条件：同一種目団体での構成員の重複確認が可能（リスト化＆出力可）

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
		⑥団体登録代表者は、他登録メンバーの入力情報について更新状況を確認できるほか、代理入力・修正が可能 登録内容更新の必要がある旨のメッセージの受信が可能。 ⑦使用希望施設または競技種目のどちらからでも申請が可能 ・施設を選択した場合は、当該施設の利用可能競技種目が五十音順で表示され、複数の選択が可能（同時選択が不可な競技種目については、エラーを表示し選択方法の案内が可能） ・競技種目を選択した場合は、当該競技種目で使用できる施設が表示され、確認が可能 ・競技種目に弓道またはアーチェリーを選択した場合は、本人確認書類の条件に認定証を加え、写真等で追加申請が可能 ⑧申請の途中であっても、入力内容が自動で一時保存され、中断時は一時保存された内容から手続きの再開が可能（一定期間データが更新されない場合は自動で削除） ⑨各登録内容入力時に、管理者指定条件に満たない場合はエラー表示 現行のシステム同様、姓・名等細かく入力欄を設け、全角・半角を統一させること。	⑥構成員が一定の年齢や障がいの有無等、指定した条件を満たした団体を使用料の減額・減免対象団体として認定 ※減額・減免対象条件の指定が可能（指定日以降の予約について減免処理の自動化が可能） ⇒年度により年齢が変われば、自動で登録要件の適否判断が可能。 更新が必要な団体へ予め設定した自動メッセージの送信が可能。 <自動メッセージの条件> ■団体の場合 ・中学生以下で構成されている構成員の団体から、構成員のうち一人でも年齢が高校生相当年齢以上になった場合 ・構成員の半数以上が、70歳以上の年齢になった場合。 なお、いずれの要件に該当しても、自動メッセージ機能を適用するかどうかの選択（onまたはoff等）が管理者画面上で選択可能 ■個人の場合 ・登録者が70歳以上の年齢になった場合。なお、自動メッセージ機能を適用するかどうかの選択（onまたはoff等）が管理者画面上で選択可能 ⑦紙での申請にも対応できるよう、管理者側による任意入力でも団体登録が可能（利用者が途中まで電子で入力し、途中で断念して紙での申請に切り替えても、一時保存データから管理者による代理入力が可能。） その際、登録構成員等が本人確認証を持たない場合、理由を選択した上で本人確認証の要件を適用外として登録が可能 ⑧各登録団体（個人）のシステム利用状況（使用申請日時・キャンセル日時・ログイン履歴等）の確認が可能 ⑨登録団体（個人）がパスワード変更・再通知を求めた際、登録メールアドレスに通知が可能 なお、メールアドレスの登録は、オンライン申請時は必須であるが、紙での申請における管理者による登録時は任意（不要）とする。この場合におけるパスワード再発行については、別途印刷可能な画面表示を可能とする（希望者への交付のため）。

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
		⑩使用料の支払い方法を選択可能（窓口・口座引き落とし・クレジットカード）。なお、口座引き落としについては、入力情報を元に口座引き落としの設定が可能。また、クレジットカードについては、決済代行会社と連携し使用カードの登録・支払いが可能。 ※「口座引き落とし」を選択した場合、別途指定する手続きが完了するまでは「窓口」支払いと同様の機能とする。 なお、現行は、口座振替を提出した場合、銀行の準備ができるまでは支払いはなく、引落可能となったときにそれまでの使用料が一括で引き落とされる。但し、窓口払いで都度払うことも可能なため、上記に対応できる仕様とする。 ⑪申請者は、申請状況（申請完了、審査中、再提出依頼、再提出完了、登録完了）を日時付の履歴とともに確認可能 ⑫登録内容を変更する場合、変更内容が分かる形で管理者への変更申請、画像アップロードが可能 ⑬パスワード変更・登録メールアドレスへの再通知が可能 現状はメールアドレス登録が任意のため、パスワード忘れ等の対応はそれぞれのセンサーがそれぞれの運用で対応している。オンライン申請団体については、メールアドレス登録を必須とした上で、利用者のほうで変更が可能としたい。一定期間内に変更できる回数を場合によっては制限する必要があるかも知れない。 ⑭原則、年末年始（12月29日～1月3日）及びメンテナンス期間を除き24時間オンライン申請が可能	⑩登録団体の名簿について、団体名、氏名をあいうえお順、アルファベット順に並び替えして確認が可能 ⑪使用可能施設と競技種目の設定及び紐づけの設定・変更が可能 ⑫登録団体を誤って削除した場合の復元機能 ⑬登録・変更内容の履歴の確認が可能（登録番号、団体名、代表者名など） ⑭使用者によるオンライン登録申請があった場合は、事前に登録する管理者のメールアドレスへ自動通知が可能

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
2	施設登録及び管理		①使用可能な施設及び室場の登録・削除、時間枠（区分）、料金、対象（団体・個人、競技）、備品、室場毎の属性（一般・7種の地域団体）等の設定が可能（同じ施設でも、時間枠によっては違う競技種目の使用設定等が可能） 施設登録にあたっては、大項目・中項目・小項目（例：SUBARU総合スポーツセンター⇒メインアリーナ⇒1/2面等）で設定できることとし、施設毎に1団体あたり可能な抽選申込件数・当選件数の設定が可能 備品登録にあたっては、特定の施設のみでしか予約できない備品と、指定した施設で共有・貸出できる備品の設定が可能で、指定する備品数に応じて、予約状況と空き状況が連動することを可能とする。また、備品によっては、1団体が予約できる最大数の設定が可能とする。 （例：学習室1・2で使用可能な共通の備品「ミシン」が3台あり、Aという団体が同日2台予約済のときは、予約可能な台数は3－2＝1台とし、使用者の申請時に重複しない仕組みとすること） ②使用料について、一定の条件を満たした団体が使用した場合、条件にあった使用料減免・減額・増額（3倍規定）に対応可能。 また、一定の期間以降の直前のキャンセルなど、キャンセル料の設定や雨天キャンセル・高温によるキャンセル等によりキャンセル料が発生しない場合の設定が可能 ③施設毎に、使用対象団体（個人）が確認できるお知らせ機能を実装（件名・メッセージ・掲載期間等設定可） ④施設の新規登録や、既存施設の使用枠の追加・使用料の変更等にあたっては、適用日時の指定が可能（適用日時まではシステム内に反映されず、適用日時以降のシステムに反映される※適用日時前の設定はそのまま残る） ⑤施設ごとに使用可能な日・曜日の設定、休館日や工事等により施設を使用不可（抽選不可）とする設定が可能 ⑥様々な条件を設定して予約状況を検索することが可能（メインアリーナを全面で予約している団体、未払い状況の確認など）
3	使用申請	①管理者が指定する期間中に、3か月前抽選（市民団体）、2か月前先着（市民団体）、1か月前先着（市外団体含む）で、それぞれ使用申請が可能 また、施設に付属する備品も必要に応じて合わせて申請が可能 なお、申請にあたっては、施設で実施する種目を、予め団体に登録している種目の中からの選択（施設利用種目に連動：複数選択可）を必須とする。 ②使用料の支払済みの予約備品は、追加・変更不可	①指定する期間中に、施設登録での設定（施設毎の抽選・当選上限枠）に応じた3か月前抽選処理が可能 ※3か月前抽選においては、施設の室場毎に指定する属性に応じて、団体登録の属性と連動し、抽選での使用申請ができる団体の区別が可能 ②申請毎に、予約番号を発行し申請者への通知及び検索が可能 ③紙での申請にも対応できるよう、管理者側による任意入力が可能

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
4	メッセージ機能	①管理者が発信したメッセージを受信・確認が可能（未読・既読を表示） ※発信は不可 ※受信後始めて画面を開いた場合は、ポップアップ等によりお知らせを受信したことが視覚的にも分かるようにすること。 ②希望する施設（選択式等）に、予約キャンセルによる新規公開がある場合のメッセージ配信設定が可能	①システム内において、各登録団体（個人）宛へのメッセージ機能（発信専用）を実装。個別でもカテゴリー別（競技、施設、全体等）でも発信でき、各登録団体毎に受信後の既読確認も可能とする。 ②メッセージを発信した場合、各該当登録団体（個人）の登録メールアドレスに、メッセージを発信した旨の通知が可能 ③その他各機能の設定に合わせたメッセージの送信が可能
5	使用料の支払い	①口座引き落とし・クレジットカードでの支払いが可能 登録状況の確認及び引落・カード支払い開始日の確認が可能。 手続き完了の際は、メッセージ機能において完了通知の受け取りが可能。 ※口座引き落とし・クレジットカードの支払いは、管理者による作業によって、各連携機関に請求することで処理されるものとする。 ②使用料支払い後、天候等の理由でキャンセルになり、過払い処理となった使用料について、同一料金の施設の使用料への振替か還付を指定して申請が可能	①券売機での支払いの際、該当団体（個人）の施設使用料について、管理者で支払い済の入力が可能 ②口座引き落とし団体・クレジットカード支払い団体の月の使用料を合算し、引落開始月を選択した上で、金融機関・クレジットカード会社へ引き落とし・支払い請求が可能 ③口座引き落とし団体（個人）の抽出及び金融機関からの引き落とし情報の結果反映について、csv対応が可能 ④クレジットカード支払い団体（個人）の抽出及び決済結果の反映が可能 ⑤窓口支払い団体（個人）が使用料未払いの場合、指定期間を経過後自動で対象団体へ請求案内メッセージを発信 ⑥団体（個人）に過払い使用料がある場合、毎月指定する日時に、該当団体（個人）に対しメッセージの発信が可能 ⑦支払い情報（チェックボックスで選択など）に応じた領収書の印刷画面の表示が可能 ⑧使用料の振替・還付処理が可能 ※クレジットカード・口座引き落としのデータによるシステムへの反映は、一括処理が可能 ※使用料の集計作業に必要な対応要件は別紙2のとおり

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
6	登録カード	画面上でID等が確認できる電子登録カードを発行。電子登録カード画面は、他者（施設管理者）に画面確認を求める際、スクリーンショット画面ではない（画像共有による第三者による使用を抑制するため）ことが判別できる仕様とする。 なお、システム開発に直接関係はないが、運用として現行で対応している紙での登録カードも引き続き発行し、施設によっては双方を併用して確認作業を対応していく予定である。	
7	違反・迷惑行為への対応	各団体（個人）が自分でペナルティポイントの保持状況、付与された年月日、付与理由等の確認が可能	①別途指定する違反・迷惑行為が確認された場合、個別に団体毎にペナルティポイントを科すことが可能 ②同ポイントは、一定期間（例：最後に付与された日から別途指定できる期間）で消滅するとともに、期間中に指定する数（例：3ポイント）が科された場合、その時点で新規予約の不可や予約済施設の予約取消し等、別途指定できるペナルティを科すことが可能 ③ペナルティポイントを科した場合、対象団体へメッセージの送付が可能 ④上記機能の使用可否の選択が可能
8	予約管理	抽選申込・予約状況が施設毎や時系列順等一覧で確認可能	①施設予約状況より、対象団体を選択するとワンクリックで名簿対象確認画面が閲覧でき、本人確認情報の確認が可能 ②違反・迷惑行為があった団体に対し、違反・迷惑行為の情報入力とペナルティポイントを科すことが可能（「7違反・迷惑行為への対応」参照） ③利用枠毎に利用人数が入力でき、月間、年間の利用人数及び利用率の集計・抽出（csv）が可能 ④メモ機能等各予約毎に自由記述が可能 ⑤予約・申請日時等条件を設定した予約状況の抽出・確認が可能 ⑥現行のように、個人利用、整備、雨天利用中止などを理由とした予約枠の登録・修正が可能 ⑦支払い済の予約について、備品の追加・変更が可能
9	予約キャンセル	施設毎に指定された期間内であればキャンセル手続きが可能 ※無料キャンセル期間対象外でのキャンセルの場合は使用料の請求は継続 ※無料キャンセル期間対象外で支払済みの予約はキャンセル手続きは不可	①キャンセルがあった施設は、別途指定可能な日数を経た上再度公開（予約可能）が可能 なお、予め管理者が指定した期間内のキャンセルがあった場合は、管理者で当該枠を自動確保し、公開しない設定が可能

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
			②キャンセル施設を自動公開する場合、施設毎のメッセージにおいて、別途指定する期間中に対象団体（個人）に対し公開予定の案内の送付が可能 対象施設の予約キャンセルによる新規公開案内配信希望者に「●月●日のドコドコに空きが出ました。○月○日■時■分（翌日正午が基本）に予約が可能となります。」などのメッセージの自動送信及びお知らせページへの自動掲載、自動公開が可能。 ③上記①②の機能の使用可否の選択が可能 ④予約の取消しの際、デフォルトの設定は使用日の7日前は使用料無料、それ以外は使用料有料とするとともに、手動で金額の調整等が可能 ⑤使用料無料期間外であっても、管理者都合等無料規定に該当するキャンセルは無料とできるような対応が可能
10	帳票・データ出力		①条例・施行規則等に定める各様式（使用願い、市民スポーツ祭スポーツ大会開催届出書、使用承認書、市民ポーツ祭スポーツ大会使用確認書、減免申請書等：別紙2参照）の入力・出力が可能。なお、出力はEXCEL等加筆・修正が可能なもの及びPDFでの出力が可能。 また、使用承認書等は、使用日時ごとに1枚発行ではなく、予約した日程一覧からチェックボックスで日程を選択したり、施設ごと、室場ごと、期間ごと等を指定して1枚の書類で発行することが可能。 ②団体・競技毎や予約状況、使用料収納状況等様々な条件に応じたcsvデータ抽出が可能 ③利用日（開始・終了）とシステム操作日（開始・終了）基準のアクセスログの確認が可能 ④施設、対象日基準の予約・キャンセル等操作履歴の確認が可能 ⑤夜間照明施設の利用件数の集計が可能 ⑥雨天・高温等を理由としたキャンセルについて、理由毎の件数集計が可能
11	管理者登録		事前に利用可能な管理者ID及び利用可能な権限（5種以下の各施設ごとの予約管理業務への対応可否）の設定、登録（パスワードは別途設定）が可能 ※操作者の特定・ログ記録保管のため
12	その他機能	①よくある質問の閲覧が可能 ②システム内検索機能の利用が可能	①各機能選択時のチェックボックスは、まとめて簡易に選択が可能（ドラッグして選択など） ②よくある質問の編集が可能 ③現行同様、管理者用練習環境（公開画面、管理画面両方）を整備（同デザインは避け、練習環境であることが一目で分かるようにする）すること。

条例改正後に対応した予約システムの主な機能（一覧）

新システム機能要件（人財バンク機能）

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
1	人財の登録・更新		①人財の情報の登録や更新作業を行うことが可能 ※第一分類、第二分類の名称変更および分類の再編、追加等容易に編集が可能 ②講師一覧について、CSV出力が可能 ③管理者画面上で、公開情報がどの項目か判別が可能であるとともに、任意に項目を非公開に設定することが可能
2	人財の検索	①各カテゴリーやキーワードで講座等の講師を探している際に、地域における知識・スキルを有しており講座の講師を引き受けてもらえそうな人の情報を検索することが可能 検索結果は、五十音順、デフォルトの表示も五十音順とすること。 ②カテゴリーに大分類、小分類を付与してチェックボックスで絞込検索が可能 ③講師一覧の表示件数をプルダウンで切り替えることが可能 ④講師一覧について、更新日、名前ふりがな等の昇順・降順でソートをかけることが可能 ⑤講師詳細のページより「問合せをする」ボタン等から、使用者自身が必要事項を入力した上で講師とメールで連絡を取ることを可能とする。その際、管理者の登録メールにもCCで共有される。画像の表示もできるようにする。 【現行システムの主な流れ】人財をさがす→キーワード、人名、分野(活動内容)、指導内容、指導実績、関連する資格、指導可能曜日等、謝費、交通費→各まちの先生	①条件を設定することにより、カテゴリー毎等容易に検索を行うことが可能

（参考）→管理者画面においてカテゴリーの編集ができる調布市の「生涯学習情報コーナー」（<https://gakusyu.chofu-city.jp/>）、
 大田区の「おおたまなびの森」（<https://otamanabi-no-mori.city.ota.tokyo.jp/>）
 のように、生涯学習団体及び人財情報を一元管理できることが望ましい。

中野区の「なかの学び場ステーション」（<https://tokyo-nakano.genki365.net/>）
 府中市の「プラネット」（<https://fuchu-planet.jp/>）
 のように、生涯学習団体、人財、市内イベント情報が一元化され、検索できるとともに、生涯学習団体が、地域のイベント情報等を自ら情報更新・発信できることが望ましい。

条例改正後に対応した予約システムの主な機能（一覧）

新システム機能要件（学習サークル情報機能）

No.	項目	使用者ができること	管理者（市・指定管理者）ができること
1	サークル登録・運用	<前提>施設予約機能における団体登録情報のうち、管理者により「学習サークル情報」への掲載許可を受けた団体が対象 ①管理者により施設予約機能における団体登録が許可され、発行されたアカウントにより、登録された情報の確認・編集が可能（編集時は、公開情報反映前に管理者による確認処理が必要とする。） ②サークルが実施するイベントや会員募集のお知らせ等（チラシ画像等のイメージ添付を含む）の情報発信が可能 なお、情報発信の内容は、入力後管理者による確認処理が必要なものとし、確認を終えたら公開できるものとする。 入力フォーマット例：タイトル、開催場所、詳細、費用、問合せ先等	使用者が登録情報を編集したり、イベント・会員募集等情報発信を希望する際に、確認処理が行える仕様とする。その際、結果のほか、修正等が必要な場合は、団体へのお知らせを可能とする。
2	サークル検索・管理	①各カテゴリーやキーワードで、サークルとその情報を検索することが可能 なお、サークルの表示件数をプルダウンで切り替えることが可能 ②カテゴリーに大分類、小分類を付与してチェックボックスやプルダウンで絞込検索が可能 ③活動場所・活動曜日での検索が可能 ④学習サークル詳細画面において、簡単に団体に直接問合せができる。→「問い合わせをする」ボタンを詳細画面に設置。ボタンを押すと団体問い合わせ画面に遷移、必要事項を入力し送信することで団体に問合せをすることができる。直接送信か管理者を経由して転送する形にするかは運用で決定する。 ⑤検索結果の表示は五十音順とし、デフォルト表示も同様とする。 【現行システムの主な流れ】サークルをさがす→キーワード、サークル名、曜日、時間、分野(活動内容)、対象者、年齢層、主な活動場所、会費、→各サークル情報へ	①サークルの情報の登録や更新作業を行うことが可能 （団体登録時に記載した情報から掲載できればよい） ②サークル一覧についてCSV出力が可能 ③管理者画面上で、公開情報がどの項目か判別が可能であるとともに、任意に項目を非公開に設定することが可能 ④条件を設定することにより様々なカテゴリーで登録情報の検索を行うことが可能

(参考) ①調布市の「生涯学習情報コーナー」 (<https://gakusyu.chofu-city.jp/>)、
大田区の「おおたまなびの森」 (<https://otamanabi-no-mori.city.ota.tokyo.jp/>)
のように、生涯学習団体及び人財情報を一元管理できることが望ましい。

②調布市の「ちょみっと」 (<https://communitysite.chofu-city.jp/>)
のように、市内イベントを検索でき、生涯学習団体が、地域のイベント情報等を自ら情報更新・発信できることが望ましい。

③中野区の「なかの学び場ステーション」 (<https://tokyo-nakano.genki365.net/>)
府中市の「プラネット」 (<https://fuchu-planet.jp/>)
のように、生涯学習団体、人財、市内イベント情報が一元化され、検索できるとともに、生涯学習団体が、地域のイベント情報等を自ら情報更新・発信できることが望ましい。